

七鈴鏡「付宝地山 2号墳出土品一括」

しちれいきょう(つき ほうじやま
にごうふんしゅつどひんいっかつ)

県指定

所在地：呉服町



昭和48年11月17日、上宿の宝地山古墳群のうちの2号墳から出土したものである。

直径16.9cm、縁に7個の鈴が付いていることから七鈴鏡と呼ばれている。兵庫県下では出土例がなく、全国的にも数例が知られるのみである。

宝地山2号墳は古墳時代後期(5世紀末～6世紀)の築造であり、当地域の古代史を解明する手がかりとして極めて重要である。